

(くも膜下出血の予後規定因子に関する分析) に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：(平成 29 年 4 月 3 日) ~ 平成 29 年 12 月 31 日

〔研究課題〕

くも膜下出血の予後規定因子に関する分析

〔研究目的〕

脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血の予後規定因子を明らかにすることです。

〔研究意義〕

脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血は非常に重篤な合併症や後遺症を来す可能性がある疾患として知られています。このような疾患の転帰に影響を与える因子について検討を行い、予後を改善するために必要な手技や方法について検討を行います。

〔対象・研究方法〕

2009.2 月から 2013.6 月までに帝京大学ちば総合医療センターに入院した脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血の患者さんで、外科的治療が施行された症例に対し検討を行います。これらの症例について年齢、性別、既往歴などの背景に加え、入院時の重症度、手術方法(開頭クリッピング術群とコイル塞栓術群)、炎症所見(発熱、血清 CRP 値、血液 WBC 値)と患者さんの転帰(発症後 60 日以内に独歩自宅退院可能であったかどうか)の相関関係を統計学的に解析します。

〔研究機関名〕 帝京大学ちば総合医療センター 脳神経外科

〔個人情報の取り扱い〕

治療の記録や患者情報などは「臨床研究における記録保管に関する標準業務手順書」に従い、厳重な管理下で行います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 保谷 克巳 帝京大学ちば総合医療センター脳神経外科 教授

住所: 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 3426 番 3 号

TEL: 0436-62-1211 (代表)